京城新報

明治四十三年　紀元二千五百七十年

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

定價（袋入金貳圓▲一枚金二錢▲一ヶ月前金壱圓▲三ヶ月前金壱圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢）

廣告料金（五十字詰一行金七十五錢▲五號活字十七字詰一行一圓▲五十錢▲雜欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢）

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

發行所　京城新報社

印刷人　高木久馬太郎

編輯人　松久神一郎

京城西署西小門通（電話六六二三）

雜報

正金銀行の擴張

（滿洲金融機關として）

滿洲金融機關たらしむべく内定し其首相は既に過日の委員會に於て之を宣明したるが右に關し今後大藏省の執るべき方針に付當局者の語る所左の如し

▲不動產抵當制限の撤去　正金銀行滿洲支店にては現今不動產抵當の貸付に對しては一定の制限を附し居るも既に正金をして滿洲唯一の最高金融機關たらしむる以上は單に商業上の資金を供給するのみならず農工業に對しても完全なる金融機關たるの實を有せしめざるべからざるを以て倉々施の曉に於ては之を撤去することに決定せり

▲條例の改正　正金銀行をして不動產に對する貸付をなさしめんとする結果滿洲支店に其本來の目的なる外國爲替取組銀行の性質を離れて拓殖銀行の性質を帶ぶるに至り從つて現行條例の改正を見るに至るは已ひを得ざる所なりされば十分取調を遂げたる上正金銀行條例に適當なる改正を行ふ豫定なり

▲銀兌換券の廢止　正金の滿洲支店は現に保證準備銀兌換券を發行する特權を有するに依り此上發行特權を擴張するの必要なければ目下千五百萬圓の準備は漸々引換へられ僅々二百万圓を剩すのみならず滿洲貨物は重に旅順及び大連に依り而も多くは邦人の手に歸すると共に北韓と滿洲との取引は日々頻繁を加へつゝあれば韓國の既に金貨本位制を採用せる今日金兌換券は滿洲に流入して銀券と交互に流通し取引上の不便を來し特に銀貨の變動は其の換算を困難ならしめ煩雜名狀すべからざるものあり左れば政府は滿洲に對しても銀兌換券を廢止し金兌換券を流通せしむる策を立つるを以て最も緊要なる事項と信じ滿洲に於ける邦人の事業にして或る程度まで發展するに伴ひ之を實施せん方針なり

今後の兵員配備

駐韓軍現在の配備は當時の狀況に適應せしむべく改定せしものなるが其後守備軍の所在地は何れも其威風に服ささしも兇徒を遁ふせる暴徒も遠く逸走して目下の出沒地は比較的警戒の行き屆かざる地方に在りて當時警戒を閑却せられたる地方は交通不便の僻在地にして未治狀態の如何に在るかを排知せざる爲め彼等暴徒は此隙昧をとる奇貨とし巧みに愛國の義名を騙ざるより土民等は熱烈なる義兵として歡迎し途に附和雷同するが如き傾向あり是等士民の暴挙は一旦鎮沈せる暴徒の元氣を鼓舞し相呼應して疫消的騷擾を企つるに到らしめたるものなれば今後の配備は暴徒横行の現況に鑑み意兵警察官の充備と相俟ち駐韓軍屯在地も多少の變更あるべしと云ふ

●東拓社の漁業方法

東拓會社の漁業經營は愈々來月より着手の筈なるを以て目下準備中なるが其の經營方法に就き同社重役の語るところを聞くに漁業者の漁獲物は一日の軟穫を要し夏期まで運搬するに三日を要したれども東拓會社は之れが販賣を自身に於て爲す筈なれば漁業者は運搬に要する日子を省き專ら漁業に從事し得るの便利あることとなるが會社の之れを運搬するには段平船十艘を新調して漁業の根據地なる耳湖浦に備へ付けあり小蒸汽船にて安東縣へ曳かしむる計畫なるが漁獲物の代金は金銀に代ふる切符を渡し需用品又は水船と沖合に派遣し以て漁船の需用に應じ晝漁の時に於ては價格の權衡を保持する爲めに耳湖浦より龍岩浦（此間三里）まで電話を架設し夫れより電報にて市場の形勢を報告するの仕組にして九州の四縣下より來るべき漁船は來月中旬までに大概到着する豫定なるが熊本縣より來るべき九十艘の漁船を以て運搬する筈なりと云ふ

●北韓の富源

此程北韓地方を視察して歸來したる人の談に依れば由來北韓の地多くは世人に誤られ咸南咸北と云へば交通の便開けず地味硝確にして何等見るべきの物產なきが如く思惟居れるも所は大なる誤りにして咸南に在りては治鑛館へ行き屆き物產の如きも農作物試作地に於ける結果に徴すれば米、麥、豆類の栽培に適し殊に近時試堀しつゝある黑鉛に至りては實に無盡藏と云ふべく又咸興地方に於ける梨子は優に海州產と爭ふを得べく以て果實の栽培に適するを知るに足らんしかも海產物に關りては世人の既に知る處の如ければ北韓の地實に有望と云ふべしと

地方通信

▲平壤通信

▲昨今の金融趨勢　韓人相手の商人側に於ては雜穀類の騰貴に連れて多少の追の狀態にあらざるも有樣なり爾來韓人取引は大抵掛買りにて二十日勘定が通例の如くなり居りしも頃日此れ等弊風を打破せんと一般商人間に勵行せしも今日猶借債を償正する能はず而して日本人を華客とする產貨商の如きは昨年來より引續き不況の類勢を恢復する能はざるを以て苦境慘憺眉を開くに遑あらざる程なり昨今の金利は擔保付最低三分最高六分を云ふ法外の利子なるに拘はらず爭ふて借入れる有樣なれば從つて各銀行業者は多忙を極め居れり

▲穀類の出廻　中和市場に於ける穀類の出廻りは平壤よりは却つて盛んにして同停車場構內受渡しの裸相場は大豆六圓四十錢小豆同額算七圓十五錢小麥八圓二十錢黍四圓を唱へ居れり然れども大豆小豆は當地の軟弱氣配の影響を受け幾分下拂ひの傾向あり

▲二月中の輸出入　鎭南浦稅關平壤出張所に於ける二月中の輸出入貨物價格は左の如し但し單位は圓とす

▲輸入之部

小麥粉五〇▲砂糖及精糖四一五二▲清酒一二二八▲綿絲及打綿二一二〇▲麥酒二▲綿織糸一三三六二▲生金巾シーチング一八〇五▲日本綿一二八八五六七▲相布二八一▲紙類二八八二▲煙草三七二▲鐵筒及管一二四▲木材及板二▲叢吹二〇三▲其他雜品四八二二五

▲輸出之部

米八八二▲乾魚及鹽魚一三▲牛皮七一九▲其他雜品五五六

●遺族義捐金分配　赤十字平壤委員部及び愛國婦人會同支部にて募集したる順川暴動事件義捐金に當地にて集まれるもの百十二圓三十四錢に曾爾統監より寄贈せる百圓及び赤十字愛國婦人會韓國本部よりの五十圓を加へ去る十一日兩部より官庭以外の遺族及び遺屬者に分配送金したるよし其の姓名金額は左の如し

貴島榮（十圓）▲板東昌一、杉本善太郎（三十七圓五十錢宛）▲山田三郎（四十五圓）▲西善一郎（四十圓）▲矢島きよ（五十五圓）▲木村こま（三十圓）▲深井七五郎（五圓）以上

文苑

▲女性の四季

甘露童人

◎春

朝へ出でそめし若草の
色も長閑けき春の野を
我が物顏に眺め居る
一人の幼き少女あり
繰り飽なすかみの毛に
たのれと作りし花飾り
結びていとも嬉しげに
わゝと彼の女は叫たり
やがて十歳の星移り
我身に春風吹きくれば
乳の香りは春微の香と
變りて最も嬉れしやな
花の紅見ゆる花の顏
光も消き月の眉
春の船となるなれば
我身の幸ひ如何にぞや

日本銘刀傳

第六十八席　邑井一譯演

其のうちに蕎飯に茸汁なんといふもの を調理へて御馳走をしてくれる　眞「瀧頭をいたした、結構くもねへだらう、頭が空つた時は何も仕方がねへ、此れから鎌倉へ往かつちやるか　孫「然やう　孫「ハ、ア美味くもねへだらう、頭が空つた時は何も仕方がねへ、此れから鎌倉へ往かつちやるか　眞「然やう　孫「ヤ私も〻何うか一度は、鎌倉へ往つて見てゐと思つてるけれど、此れも協はん、イヤモウ鎌倉あたりへね仕居なさるなゐ結構でございます、然して何處へ行しつたんで　眞「私等は京都へ上つたものだ　孫「アー夫りやアは京都へとざらしたのか、私等ア何うもはア勿々然ういふ京都だの、鎌倉だのと言つて往くこともね能はねへでございます、然して鎌倉は何方でございます　眞「稻村ケ崎といふ所だ　孫「ハア然うでございますか」と言つて居るところへ表から　倅「父さん今歸つた……」ドヤ〻〻〻ヒイ　孫「ハ、ア富家の倅が歸つて來ましたよ　倅「父さん只今歸つた　孫「大きい倅の幸助てね者、なか〻〻親孝行のウ　眞

東京新報

京城新報

大隈伯の外遊說 (二)

今の時に於て國民上下の希望

維新の元勳は薩長土肥否其以外にも敵多あるのである、而かも大久保、木戸兩人亡歿後に於ては元勳政治家と云へば伊藤、大隈を併稱するに至つたのである、此兩人が在朝在野を問はず國政に關与するに至つたのは他に理由もあるが實は明治政府創立以來兩人して我外交を背負つて立つたからであるのである。表面の外務卿には副島、寺島、井上あり特に天皇外交家の素質を有したる陸奥宗光ありしと雖も實際列國に向つて外交上貫きを爲し又當人自らも何時如何なる場合に於ても我外交の代表者を以て任じたるは伊藤、大隈の外には無いのである。

國初以來我帝國に軍事に於ては他に比類なき經驗を積んで居るのである、亦外交上少なからしを以て內政には著しき發達を遂げ來つたのである、併し軍事と內政の割合には外交には全く何等の進境を示さなかつたのである、夫も其善幾世紀に亘つて鎖國を國是としたる我帝國は諸外國に對して何等外交的交渉を有せなかつたからである、

徳川幕府が廢しても**政權の返上**を爲すに至つたのは全く**外交の失敗**からである、明治政府創立以後**廟堂の諸豪**が彼の渺たる**パークス**に惑まされたのも全く外交に無經驗だからであつたのである、併し開國以來我帝國の其運命は否やでも應でも外交に伍つて左右さるゝことゝなつた、茲に到つて西郷や大久保や木戸や決して其人に非ず、伊藤、大隈の兩人あつて始めて外交らしき外交を行ふように爲つた、明治年間迄の外交は伊藤が中心となつて運つて來たものである、其成敗は別として此二人者が眞實國家を背負つて列國に當り來たる苦心慘憺の形迹は國民上下の今日に於て知らざるべからざる所であつて亦其甚大なる勞に向つて**國民上下の感謝**せざるべからざる所である。

廣き寰宇中、國を爲せるもの幾十百、而かも內政に於て政府の苦勞と憂さる國は我帝國を除いて他には多くはないのである、租稅が高い、政治が惡い國民は時として**革命的破裂**を爲さんとするとゆふのである、而か

桂侯なることは萬人の認ひるところである、然れども桂大頭如何に外交を解せばとて外交の何たるを知らざる現在の**群盲**に圍まれては思ふ樣に其抱負を實行し得るものではないのである、見すや近くは國民の還良と稱する**馬鹿の一團**が桂侯を捉へて**韓國處分**に關する政府の決心なるものを聞かんことを求めたるを、嗚呼此雪は白し此炭は黑しと喜言するに非されば雪炭の黑白をさへ判別するの能力を有せざる群盲を率ひて外交の衝に當らんとする桂侯の位置も亦困難なりと云ふべしである。

米國排日政策を拋つとは記者の望むところであるが而かも今日に於ては夢にだに見ることを得ざるところであるのである。伊藤、大隈に續いて外交を解せるものは現總理大臣

東京電報

▲**東拓の無能攻擊** 國原代議士は本日の衆議院に於て約二時間半に亘り東洋拓殖會社重役の無爲無能にして韓國拓殖の目的に添はざる事を一々實證を擧げて痛切に批難攻擊し國家が斯かる會社に對し每年三十万圓の補助金を與ふるの無意味なる旨を述べて政府の責任に論及し大に滿場の注意を惹けり(十五日)

▲**煙草値上の建議** 政友會代議士早川龍助氏は煙草專賣實下率改定に關する建議案を出さんと政友會と協議中なるが同案は專賣實下率を引上げ二百萬圓の增收を圖るにあり(同上)

▲**外人所有の土地** 衆議院外人土地所有法案委員會にて幣原政府委員の說明する所によれば現在日本人の名義にて外人の所有する土地は市街宅地七萬九千六百八十坪、郡村宅地二百万二十四坪、山林一萬六千百町歩田畑四万六百四十五町歩なり(同上)

▲**捕鯨兩社の協定** 日韓捕鯨會社は韓海に於ける東洋捕鯨會社の權利を掌握すべく兩社交渉中なるが其結果日韓捕鯨權を投資し東洋捕鯨は捕鯨船を有せざる日韓に對し一隻乃至二隻を使用せしめ收益の四分の三を東洋に四分の一を日韓に配分する事となるべし(同上)

▲**東拓改正案の通過** 東洋拓殖會社法改正案は衆議院委員會を通過したり(同上)

▲**日露協約と外債** 外債借替に關する英佛シンジケートとの交渉は着々進捗を告げ居ると疑なし其發表期は日露協商發表後爲さるべく日露新協約の內容は從前の協商を更に層一層擴大せられたるものにて殆んど同盟に近きものにて此協約成立は英國は云ふ迄もなく露國と利害關係を共通せる諸國の財界をして安んじて我外債に應募せしひるに効力多かるべし(同上)

▲**米輸入稅と上院** 關稅中米の輸入稅問題に付き貴族院は衆議院の修正に對し政府案を復活し百斤六十四錢に再修正を爲すべく結局兩院協議會に於て彼我折衝の結果八十六錢に折合ふことなるべし(同上)

▲**日米戰爭と決議** 米國の富豪シップ氏が對日開戰の已むを得ざるを唱道し此の暴論一たび傳へられしより米人に排日熱を再現せしめたるを遺憾とし東京に於ける國際新聞協會は十六日大會を開き日米戰爭の理由なき所以を決議せり(同上)

▲**獨逸公使の謁見** 獨逸特命全權公使ナード及勳一等ロルローの兩氏は今十六日天皇陛下に謁見御陪食を仰付けらる(十六日)

▲**大石氏の日露同盟論** 大石正己氏は國民黨結黨式に於て我國の外交の軟弱を難じ我國今日の急務は滿韓經營にありと絕叫し之が目的を達する唯一の方法は日露同盟にあり日露同盟は實に東洋の平和を大盤石ならしひるものなりと結べり(同上)

▲**輕氣球研究會員渡歐** 輕氣球研究會員海軍大尉相原四郎氏は飛行器研究の爲め獨佛二國に出張を命ぜられ近々出發の由飛行器研究の爲め歐洲に差遣せられたるは之を以て嚆矢とす(同上)

▲**年給恩給の取扱擴張** 本日勅令第二十五號を以て年給恩給令の準用を逓信省、統監府、臨時臨太廳の諸官廳使官所に於て取り扱はしひる件を公布されたり(同上)

▲**韓鐵員扶助料と上院** 本日貴族院に於て韓國鐵道官吏の恩給及扶助料は委員付托となれり(同上)

▲**東京電報** 東洋拓殖會社法改正案は衆議院委員會を通過したり(同上)

▲**倫敦商議の決議** 倫敦商業會議所は全會一致を以て左の決議を爲せり(十六日)

我會は日英博覽會に於ける日本の出品の盛大なるに鑑み一般英國製造業者に對しても須らく出品すべき事を勸告す

▲**勅牙利王の土都訪問** 土耳古政府は勅牙利の照會に對し同國王のコンスタンチノープルの訪問は五月を以て適當なるべしと回答せり(同上)

▲**和國軍政の撤廢** 和國は スマーラに於ける軍政を廢し民政を施くべしと(十五日)

▲**倫敦商議の決議** 倫敦商業會議所は全會一致を以て左の決議を爲せり(十六日)

我會は日英博覽會に於ける日本の出品の盛大なるに鑑み一般英國製造業者に對しても須らく出品すべき事を勸告す(十六日)

歐洲電報

雜報

韓國林政方針 (一)

(農商工部技師談)

●**造林の急務** 韓國の現狀を見るに木材の產出力は到底其消費力に伴ふ能はず相互の間に非常の懸隔あり加ふるに世界中境も多くの木材を費消する日本人年々移住を增しつゝあれば供給は益不足を告ぐるに至る可く事茲に至ては良材良種を選ぶ暇なく多少粗惡なりとも容易に植付られ迅速に生長し廉價にして數多きものを擇びて植付くること最も必要なり而して植付くるに當りても荒廢して植付けに不便にて困難なる禿山荒丘より先づ接近せる家屋の周圍、路傍、富地などより手當り次第に植付ぐるべくあらば其結果は直接に人の眼に響き植付しものも張合あり之を見るものも眞に自然に植樹の思想普及さるゝことゝなるべく如此にして基礎を造り需要供給の漸く平均するを俟ち追々故良を施し良種良材を產出せしひる方適當なり此見地よりして山林局が從來外國種を購入しつゝありし針葉は之を中止することゝし北海道よりポプラ類を輸入し到處に移植せしひる積なりポプラは挿し芽に適し一年五六尺より八九尺に生長するが故に桑の如く之を刈取ることゝすれば一株より六七本を得べく更に此刈取りしものを五寸位に切り植付ける方法を採れば風算にて莫大の數を得ると以て始めは專ら此方法を奬勵する積なり斯くして數年を經ば韓國の山野は蒼々たる森林に富むに至るべく其後に改良を施さば今に引替へ有望なる山林の國となるに至るべし

●**炭燒の改良** 殖林を奬勵すると共に一面炭燒を改良する必要あり韓國では樹根を堀取りて炭を燒くの習ひなるが如此は植林の爲めには非常な害なれども今迄多年の習慣を一朝にして改めしめんは難事なるべきが元來韓人の炭燒方法たる極めて幼稚にして材料を濫費する甚だしく百貫目の樹木を用ゐる僅か十貫目位の炭を產出するに過ぎず而も之を改良して五割位の炭を出得るは極めて容易の業なるが故に其改良方法を炭燒業者に傳習することゝし先づ第一着手として京城に對する水炭供給者に數ゆれば此法を得たるものは同一材料を以て多くの木炭を製出し其法を習はざるものは多量の材料を費やして僅少の炭を得るに過ぎざるが故に前者は價廉に後者は不廉となり到底販賣上に競爭し能はざるとなり其結果殷業者續出し從て山に密する方法を以て炭を燒く業者の數は大に減じ僅に殘存せるものは改良法により少しく害を與へて多量の本炭を供給し得るとなり自然に山林の荒廢を減じ殖林を助けるとなるべし故に燒炭改良は又韓國林政上の一急務たるべきなり(完)

●**普通教育新教科書** 學部にては普通教育に從事せる韓人教師等の棄著甚だ幼稚なる現狀に顧み教育學教授法及學校管理に關する事項を網羅せる新教科書を編纂せり右は專ら普通教育を咀嚼しめん爲め編輯せる用に迂遠なる理屈は一切避け在るを以て夏季講習等に用ゆれば殊に便なるべ又日本人教師にも適切なりと尙ほ同時に唱歌集第一輯を編成せるが右は現在の唱歌集だ雜多を極め私立學校の如きは殆んど取捨困難なるを以て其編一を計らん爲め編成せしが啻に學校のみならず家庭に使用するも差支なく而して以上出版は四月中の豫定なるが印刷出來の上は各道及官公立學校へ頒布し普く販賣せしひべしと云ふ

●**第一艦隊釜山來港** 既報の如く第一艦隊の旗艦鳥島以下肥前、三笠、相模、周防、石見の六艦は去る十二日佐世保軍港より小濱に入港し十七日まで同港碇泊の上十八日小濱拔錨翌十九日釜山港に來航二日間碇泊中一日鎭海灣に向け拔錨の筈なるが碇泊中は一般公衆の參觀を許可せらるべしと尙ほ同艦隊は廿一日釜山拔錨鎭海灣に入り廿六日まで同所に在り廿七日同灣發三笠のみは所屬港舞鶴に向ひ同港着の上豫備艦隊に編入せられ其他の五艦は廿八日再び佐世保軍港に入りて其編成を解き鳥島肥前を除くの外の各艦は各所屬軍港に歸航の筈なりと

●**國境犯人引渡協商** 清韓國境に於ける兩國人の爭鬪は常に絕ゆるの期なく現に鴨綠江解氷と共に採木公司の流筏事業開始せられんか數千の清韓人入り亂れ彼我の紛糾問題を惹起せしは從來珍しからざる事實なるを以て此場合に於ける親五引渡に就き何等か協定し置くは最も必要なるを以て統監府は外務省と交渉の上本日清國政府に協商を開始すべく小松外務部長は其打合の爲め十六日東上したる也と

●**仁川救護院の設立** 仁川救護院は星仁川分監長に協議し免囚保護、貧民及び孤兒救助の目的を以て目下仁川救護會なる慈善團體設立の計畫中なりと云ふ

●**鴨綠江の徒步杜絕** 鴨綠江の氷上は目下危險の恐れあるも尙通行中なるが盡々十七日頃より徒步を杜絕する見込みなりとの電報あり

●**俵次官登廳時間割** 俵調査局副總裁は火木の兩日の統監府會議日を除き每日午前は學部に午後は調査局に登廳執務せらるべしといふ

●**土木技手の任命** 地方費の運用法に基き曩きに各道に配置したる土木主事中より地方費を以て支出すべき土木技手に任命せり

京城民會の開會

京城居留民團は十五日午後七時より民會を開き出席議員は議長以下十一名にして議案は左の如し

一、滿城病院費特別會計廢止の件
二、審査記定員十八人を二十人に增員の件
三、民團稅則中藥妓中居諸與業者席稅改正の件
四、汚物掃除劃調徵收規則中等級及徵收期其他改正の件
五、學校授業料及保育料徵收規則中庚子紀念の四字削除の件
六、吏員交際手當及舍宅給與規則增補改正の件
七、豫算定額の支途に應ずる爲め一萬圓迄一時借入を爲すの件
八、吏員外勤手當支給規則中吏員とあるを書記及屋員と改正の件
九、龍山軍用地使用料中事實使用せざる部分外は四十四年三月末日迄免除の件
十、四十三年度歲入歲出豫算案

議長開會宣言するや番外京城民長發言を求め提出議案の大要及豫算の大体に就き說明し曰く吾が民團の發展は實に驚く可き程度に在り今此發展に伴ひ空前の大豫算を提出するは頗る光榮とする所なり然るに就職以來約百日此間醜吏の罷黜繼續せられ之が調査の爲に其大半を費消し充分豫算及各般の事項を攻究するの遑なかりしは洵に遺憾至極なりとす故に多少不滿足の點あらんも乞ふ之れを諒せられ御討議あらんを望ひ若し夫れ四十四年度に到らば必ず其効果を現實すべし尙ほ歲入は前年度の稅率を踏襲し歲出は既に議案を經たる學校增設費以外何等新事業なく又議規則改正は豫算編制上已むを得ざるもの而已提出せりと述べ各員の同情に訴へたり爾に於て石井議員一號より十號迄全部擧げて委員付托の動議を出だし二三の質問應答ありたる後之に決し更に皆川議員發言を得て民團議規則中改正を要すべきもの多々ありと信ずるも故に此際更に七名の委員を選み民團議規則改正委員會なるものを設かんとの趣旨を爲したるが會我議員之に反對し民長の意見如何と問ひ民長之に答へ同じく反對の口吻を洩らせるより皆川議員は猛け り出し會我君は本員の此趣旨を脫評して民團法に抵觸し職員の權能を脫せる無効の動議なりと言ひ俗吏の巢窟なる民團法義解を楯に冷嘲するも該義解が果して爾か隨喜渴仰すべき價値ありや本員は法律に衣食すと雖も決して法律論を試むるを欲せず唯だ職員より斯かる建議を爲し直ちに議題とせる例は從來幾度も是あり且つ吾等議員たるものは一も二もなく民長の提案のみを議すべきものにあらず宜しく進んで民團の爲めに問題を提議する何の不可かあらん而して職員自ら如此狹義に民團法を解釋するは蓋だ慨嘆の至りに耐へざる所なり若し夫れ民長が會我君の質問に對して臆面もなく之に應ふるが如き其無見識驚く可しと叱咤し夫れより會我議員との間に激論を交はし愛案滿場の觀あり了に採決せるに可否同數なる爲め議長之を否決し更に該案調査委員選擧を投票し中村、中島、大村、齋川、林田、石井、會我の七氏を擧げ午後九時散會

●**海老名彈正氏來韓** 日本基督教界の泰斗海老名彈正氏は神戶教會牧師渡瀨常吉氏同道、來四月二日當地に來着四日より七日迄平壤の招聘に應じ八日より十二日まで五日間の出町京城基督教會の主催にかゝる講演傳道に從事每日公開講演教及青年會韓人會其他の集會に臨み基督教を宣傳すべしと。若なれば當地の靈界に及ぼす影響多大なるべく同教會にては既に右歡迎準備の準備中なり

●**各水利組合の現況** 水利組合の設置如何は產業開發上多大の關係あるは云ふ迄もなく會社統監の產業政策の一として數へられ居れるが先年度支部より內部に之が管理權を移すとなり目下兩部に於て種々調査中なるが曩きに發布したる水利組合條例に基き組織したるものは京畿南道害陽忠淸南道連山、全羅南道沃溝、咸安、咸陽、中部の五にして成績良好なりと

●**小松務部長出發** 小松外務部長並に今回近衛師團司令部付を命ぜられたる元帥島派出所長齊藤大佐は十六日午前南大門發列車にて東上したり聞には石塚長官、木內、小宮後、松井、國分の各參與官、三浦理事官其他文武官民二百餘名見送れり

●**ハルバート來韓期** 此程米國より歸來したる基督教育學會主ヂョンヂット氏の談に依れば彼の海牙密使事件に關係あるハルバートは來る四月下旬か五月上旬來韓すべしと云ふ

●**石川石代氏の歸朝** 鴨綠江架橋材料購入の爲め滿洲へ出張せし石川韓國鐵道管理局技師は西比利亞を經て廿七日敬賀に歸着する由なり

●**倉富長官の歸任期** 東上中の司法廳長官倉富勇次郎氏は來る本月下旬頃歸任する筈なりと云ふ

●**木內農商工部次官** 廣岡氏及び名古屋兩共進會視察の爲め木內農商工部次官は近々歸朝する筈なり

●**五百木長三氏着京** 朝鮮問題同志會韓國特派員五百木長三氏は十六日午後八時南大門驛着入京す

●**山形中佐の歸京** 江原道巡視中なる同京城憲兵分隊長は十七日歸京の筈

●**米澤尙三氏歸京** 歸朝中の京城敎會牧師米澤尙三氏は今明日中歸京の筈

●**仁川府尹の出張** 金仁川府尹は十五日仁川出帆信濃川丸にて木浦に出張

●**古森憲兵中尉の出發** 古森憲兵中尉は十五日の便船にて仁川より群山に向ふ

●**山本桃州氏歸京** 政況視察の爲め時朝中の大朝特派員の氏は十六日歸京

●**竹內軍司令官歸京** 竹內軍司令官は十六日出發大邱馬山方面へ向へり

●**北尾社長の退京** 石川縣農業株式會社長の同氏は十五日仁川に向へりと

東沿岸の航路狀況

釜山雄基間に於る東沿岸補助航路狀況に付き最近の報告に依れば一月中は結氷の爲め完全に航海する能はざりしも尋ある正月の事として日本人の取引は殆ど休業の狀態なりし爲め貨物の輸送少なく乘客は正月前にて出稼韓人の歸鄕するもの多く相應にありたり輸出品は釜山元山の白米、石油、鹽、陶器、酒、鹽魚、同卵、江陵の干柿、襄陽の干鱈、滿頂の大豆、鱈等重なるものにして二月中は天候不良打續きし爲め江原道一帶の漁獲面白からず是等各港より輸出僅少なりしも從來日本へ輸出されし滿洲大豆の一部が歐洲へ輸出さるゝことゝなりし爲め大豆の需配頓に昇騰し韓國各地より大豆の日本へ輸出さるゝもの急に增加し本航路中浦項も其の影響を受けて相當の輸入あり

しと雷正月前にて釜山より江原道各地への輸出雜貨相應にありたるが輸出品は釜山、元山の石油、酒、煙草、砂糖其他雜貨浦項の大豆、江陵の干柿等其重なるものにして追々春陽の好時季となり順る活氣を呈しつゝあり

シガー、ブドウ酒、ブランデイー、洋菓子、果物カン詰類、食料品
シガレット、シャンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン
卸小賣 歐米雜貨洋酒 洋煙草類 金銀屬美術品 直輸入商
二三丁目 京城本町 辻屋 本店電話二一四八 支店電話三六六

妖婦櫛卷れ銀 (三)

滿韓臺灣は元より米本國を荒せし女

然れど元より計りて翻りし南洋虎の心銀の申出でに耳を借すべき筈はなく傳つた嫉んだの其の果はわッ面倒と許り乾分の者共手取り足取りれ銀を鐵縛監禁なさんとなしければ甚にれ銀も死物狂ひ種身に持つた短銃を取出すより早く虎を目蒐けて發砲したり意外の事に虎も身を替す隙はなく右腕を撃止す射られければ憤怒の血相凄まじく自られ銀を縛り上げ地下の倉庫に投げ込みぬ、偖二日許りを過ぎし三日目からは乾分の者が入れ替り立替り身實系諸を迫り來れどれ銀元より諸くべき樣なく何日しか二十日餘りも經過せるが斯くてあるべきにあらねばれ銀も漸く決心なし逃亡手段を廻らす内吉蘭で云ふ乾分の一人が恐うやら自分に甘な關所を見るにそ的確それと心に首竜き這奴を手先きに逃げ出さんと或庇の機會に夫れとなく口論の先にほのめかせば吉蘭は待つて居たと許りの二つ返事で承諾しければ占たと心に北叟笑み時の至るを待つ一夜仲間の祝ひに酔ひ倒れて家中皆油斷の隙を見計らひ吉蘭の引引きに安々裏門より逃れ出で愛て吉蘭の家に身を隠め暫く樣子を覗ひ居たりしが南洋虎の手配り厳くなりしを計り兩人手に手を取つてカリフォルニア州の奥深く入り込みて茲に二ケ年間土人の有金を色で仕探げて巻き上しのみか遂々豪農某を手玉に取つて數萬の金を懐中に捻じ込むや疾う吉蘭には要事はない後足で砂を掛け此れから南洋虎へ面目差して乗出せしなれ五月十日は宿屋住居に日を送る内愈て目星を附盗し

俺

ひ居たりしが是の人なれば大丈夫と心に成算立ちしより或夜兩人を呼ね住き事の仔細を打開けて復讐話を計りしに對手が女丈けに氣の毒がり宜敷い

引受

けたと立涙にロを利かれしのみか其の本人の南洋虎も今は米國を引揚げて今は此の地に居るとの事に此こそ神の引合せと其の成行を待ちたりける是れぞ鬼莉と南洋虎の暗壘の導線逢いに香港にて兩親分が

仇討

ちとメキシコより便船を求め香港差して乗込みぬ彼れ銀抑も何の目的にて同港を目差せしか。云ふ迄もなく南洋虎に全財産を浚はれしのみか倉庫に迄も監禁せられ身を以て逃れ出でたる無念さは忘れんとして忘れ難く何日か此の仇報ひ奥れんとの心願は今や漸く熟し來りければ今度こそ南洋虎に對抗し飛る立振なる後押し掛へし上屹度復讐なさんものと偖こそ香港目差して乗出せしなれ五月十日は宿屋住居に日を送る内愈て目星を附盗し

鬼莉

と呼ぶ土地の俠客の樣子を伺

血の雨降らす因ひなりき。

放駒大阪歸還

▽俠客吉田の仲裁にて力士放駒は強前若松の俠客吉田氏の仲裁にて大坂に歸る事に決したるを以て常陸山は新聞通信記者及其の他今回の事件に關係者を本日國技館に招待し事件落着の披露を爲せり

忠南の難破船

▽幸ひにして溺死を免る

仁川港町一丁目雇賃及び船業日上佐堂の持船日本形帆船に同居馬屋人古川政太郎外一名乗組み去月二十七日午前五時金羅南道クルッポ港より割木五萬斤を搭載して出帆し仁川に向け航行の途中本月一日午前四時半頃瑞山郡大山面大角の西方約八十里の沖合にて俄然暴風に逢ひ船体自由を失ひ遂に覆没して政太郎外一名は海中に溺れ約十四時間船体の破片に身を委ねて漂流居たるが運能く午後六時頃大角里の沿岸に漂着し同里人崔英植の救護を受け二日間同家にて療養し勇氣の回復を待つて五日海美郡大湖浦より汽船に搭じ仁川に歸港したるが損害は船体六百圓積載割木約百圓なりしと

大首魁の逮捕

▽四十年來各地を横行す

近來暴徒の出没頻々として良民の被害尠からず官憲の討伐の爲め日夜盡瘁しつゝあるが茲に鏡岡北道安東郡乃城面西谷甲

權重高

忠清南道洪州郡西面白石洞

高在植

と云兩名の大首魁か京畿道抱川郡青松面白湖里に潜伏し居たるを發見し逮捕したる顛末を聞くに去る十二日積城分遣所にては渡邊憲兵上等兵補助員二名を附し暴徒捜索の爲め積城郡東面地方へ出張せしめたる處前記兩名が抱川郡青松面地方に潜伏し居ることを探知し翌十三日同地に至り厳重に捜索したる結果白湖里陵内洞金白永宅に潜伏せるを發見し

戯談ぢやない

▽東洋の覇權清國に歸せん

近時南韓地方に於て浮説なれども左の如き説を爲すものあり多く老人間に信する處なるが抑は東海(日本海)の青魚は漁業者の多く釣る處なるも西海(黄海)に於ては之れを釣るものなかりしが近時西海にて多數の漁獲あり而して東海の青魚は形小さく西海のものは大なり是れ清國か東洋に活動するの前兆なりと抑此の説を爲すに至りしは日清戦役前は西海に於て多數の漁獲ありたるに其後殆んど之れを漁ることなかりし處近來に至り多少の漁獲ありたる處前記兩名が抱川郡青松面地方に潜伏し居ることを探知し翌十三日同地に至り厳重に捜索したる結果白湖里陵内洞金白永宅に潜伏せるを發見し

仁川に黄金の雨

▽降るだらうと待つ乙女

此所仁川は花町に料理の出來ぬ料理屋にて藤の家と云ふが有る其所の女將に山口そね(ヨ)と云へるが有り昨年だから明治四十二年なり其の四十二年の十一月中生れ故郷の大分縣南海郡東中浦村字圓賀に墓參の爲めと表面を繕ひ内實は良き玉あらば魂魄より宿六どもに相談の上歸郷し年頃の女の子さへ見るとそ

人事部

●小供入用 龍山元町三 但十五歳以下至急入用 日韓組米店（電三四三）

●被雇度 三十四歳貸物取扱及通關手續に經驗あり多少英語を解す會社又は商店銷官衙を強び 氏名住社（一〇）

●農園 野菜類 協同者を求む但し經驗ある確實なる人 電話一二四二番方 ないとう

物件部

●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面會に限る 本町四 貸化堂藥店

●貸家 平家一戸總間數四間及長家一月間數三間場所南大門外吉野町

●売貸平家 幾坪十五坪乃至十八坪の家至急買入たし 電話七四番へ

●求貸家 水樂町二三丁目にて貸家を求む男一人温突ならば最佳 氏名住社

●繪葉書讓渡 日韓未使用紀念繪葉書安價讓渡たし 氏名住社（九）

廣告

入院隨意

京城壽町二丁目（電話三七八番）

中島醫院

院主醫學得業士 中島貞信

入院隨意

内科 小兒科 外科 病院

京城壽町三丁目 電話（二一六）

梅毒淋病 高井醫院

院長陸軍軍醫正 高井貞治

入院隨意

内科 小兒科 眼科

龍山新市街山一下町

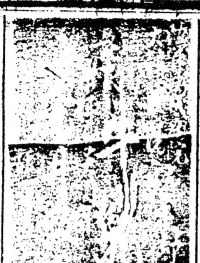
原醫院

馬車配達

純良 京城東四軒町 **牛乳** 岡野牧場 電話貴〇六九番

●滋養と牛乳●

●衛生と消毒●



胃腸新藥

タカヂアスターゼ

韓國總代理店 仁川本町二丁目電話八五〇番 竹田津三平

齒科治療

ドクトル 中村安子 本町六丁目（飯そば横町）電話一五八三番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店 米國ウオルナム時計 米國アンソニヤ時計

獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店 韓國特約販賣店

時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店

時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話七五〇番 電話千十五番

神戸資生分院

◎花柳病專門並痔（注射療法）（電話一二九四）

●入院隨意● 院長 醫學得業士 廣田蚌平

京城梅毒病院

京城相生町（南門湯橋）

諸荒物世帯道具一切

其他和洋蠟燭 アサヒ ビール サツポロ 精白米

右大勉強仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候

京城本町六丁目

日用雜貨 卸問屋 西崎嘉七本店

電話二一〇 電報（一カ） 振替貯金口座韓七番

紙と印刷

諸官衙御用

和洋帳簿 印刷 諸官衙御用

各種製本 播本商店 京城本町六丁目 電話百拾番

營業科目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

委託販賣

藤田合名會社

京東 博文館發行書籍特約店

京東 金港堂發行書籍特約

京東 中外アスファルト株式會社代理店

京東 千代田生命保險相互會社代理店

京東 ランバーダ商會代理店

京東 金盛合資會社食鹽特約

本社 東京城明治町二丁目 電話一〇三〇番

出張所 東京日本橋區兜町 電話一二九四番 京橋新橋南鍋町一丁目 電話一二九六三番

明治廿五年七月創立

東京海上運送保險株式會社

資本金一千萬圓 ● 事務所 京城本町二丁目三 電話一〇六〇番

京城代辦店 本町四 山口呉服店 電話九番

美術半襟帶締其他紐類各種

京城明治町一丁目 電話一千四百〇九

ふり徳商店

足袋

本店東京 京城大和町一丁目（日の出橋際）

大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番 明治町勸商場内ニモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

資本金 積立金

一千萬圓 五百四十萬圓

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京日本橋區兜町

支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大阪町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、釜山、其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

株式會社 第一銀行京城支店 電話一一番 六一一番

大上商店

自製 和洋酒 醸造 物食料雜貨、ビール、米穀、鹽節、塩辛、日本酒、各種特約販賣 御御望に依り商品切手調進仕候

特約販賣 味噌醬油製造元 濱物問屋 京城本町五丁目

（電話一一五一番）

京城南山町（元日本人倶樂部事）

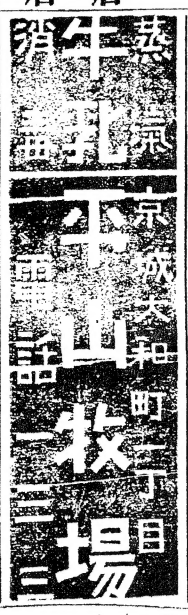
京城ホテル

長電話 一二三番 電話 四九二番

綿わた綿ワタ

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類

卸問屋 **唐川商店** 京城明治町一丁目四ッ角 電話二六一番



改修落成と電話開通

久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御贔負の程願ます

京城旭町二丁目（名古屋城横へ入る）

侍合醉月 電話二六五番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候

御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候

原金旅館

京城南山町四丁目（電話一一一五番）

韓國金屬商 和洋金物商 元祖

藤釘本藤次郎店

船來品は直輸入 日本製品は産地特約

京城本町五丁目

新案特許品數種着荷 破天荒の大勉強

長電話四五番 振替貯金口座第一三四二二番 電信略號（ク）

韓國銀行

仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、群山、木浦、馬山、成興、城津、鏡城、安東縣、

爲替取引先 東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山以上日本 釜山、公州、光州、晋州、開城、海州、沙利院、博川、鴨綠邊、義州（以上韓國）大連（清國）

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

支店出張所

仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、群山、木浦、馬山、成興、城津、安東縣、

電話 本店用 一三三 長電話 一三三 長電話 一二二 長電話 一六三 當客用 一一一 當客用 一三一 來用 二六〇 來用 二六二 隨時 二六二 隨時 二六二 總務部

貯蓄預金

一口壹錢以上何程にても御預り申候 利息日歩壹錢一厘

長崎貯銀行代理店

（十八銀行京城支店）

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓 積立及繰越金 九拾五萬圓

京城南大門通

株式會社 **十八銀行** 京城支店 電話四二〇

本店 長崎市樂町

支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山

韓國日本

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

銀行一般の業務は確實に取扱申候

資本金 參百萬圓 積立金 五百四十萬圓

株式會社 第一銀行京城支店 電話一一番 六一一番

京城鐘路の喰物は何んだろ？ 鐘路軒の酒一本

裁判所前の洋食店

松茸めし 一人前六十錢

外和洋料理 **五品付 一本**

皆さん一度たべてごらんなさい 値が安くてうまくてはらニたまる

又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐ一つでも持つてくる 極く便利ですよ

電話壹四二一九番 客用有ます

◎監獄辨當の差入も引受ます◎

★株式會社百三十銀行 韓國京城支店 京城本町二丁目十五番地 電話五十八番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、野洲、住吉、奈木、下市

東海道 東京、横濱、大磯、甲府、名古屋、牛田、熱田、四日市、沼津、山田、桑名、松阪、

東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、郡島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎、小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、

北陸道 大聖寺、富山、伏木、新潟、

山陰道 宮津、舞鶴、新鶴、豐岡、島取、米子、境、松江、久手、大田、

山陽道 玉島、福山、柄、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、

南海道 下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山、

南海道 尾鹿、州本、御坊、田邊、新宮、和歌山、丸亀、高松、八幡濱、善通寺、

西海道 島小治、西條、松山、三津ケ濱、宇和、

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、

久留米、若津、中津、小倉、門司、

行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、

伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、

宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、

北海道 函館、小樽、札幌、

臺灣 臺北、臺南、

清韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山、

銀行一般の業務精々御便利取扱可申候